

第2回 鹿児島港をモデル港とした
九州管内港湾における中長期ビジョンに関する勉強会
議事概要

日時：令和5年2月3日（金）10:00～12:00

場所：ライカ（Li-Ka19.20）【南国ホール 5F Room A】

【主な意見】

奄美航路を中心とした新港区に、耐震強化岸壁を直轄で整備済みだが、防災の観点から、新たな耐震強化岸壁の方向性の内容があってもよいのではと思う。たとえば、谷山一区、二区は様々な企業が張り付いており、離島の貨物のみならず、県内の地域を支える港である。

臨港道路の整備で、その背後の産業道路や国道225号の渋滞の緩和に繋がるのか。渋滞のデータを活用し、信号の調整や右折レーンの延伸等で渋滞緩和が図られるのでは。

臨港道路が整備され、4車線化したら一般車が流入するのではという懸念がある。車線数の計画の見直しについては、ソフト面、ハード面からの検討が必要である。

背後圏の団地から車両が産業道路、国道225号へ流入し渋滞している。臨港道路の全線についての4車線化を将来に向けた検討事項として欲しい。

鹿児島港においては新しい企業が立地する土地がないという話であるが、そもそも港湾活動を行うためのヤードがない。野積み場の確保も重要と考える。

交流機能と物流機能は分けた上で利活用を検討していくことは、まちづくりや賑わいの創出の観点からも非常に大事。その際は鹿児島港全体で検討をしなければいけないと思う。

岸壁については一般の方が自由に入れるような状況になっており、荷役に支障をきたすケースなども見られる。人流、物流のすみ分けについても記載してほしい。

クルーズ船の寄港のみでなく、滞在型の観光客を誘致するための施策と施設整備の検討が必要なのは。

観光の面から桜島・錦江湾ジオパークなどの湾内クルーズの活性化が重要であり、付随して安全な係留施設・水域施設、背後の土地利用を含めた検討が必要なのは。

現行の港湾計画には小型船の係留施設の計画が多くあるが、なかなか整備が進んでいない。放置艇対策に係る先進的な事例を示してはどうか。

【情報提供】

北東アジアクルーズ事情について

北東アジアのクルーズ人口と訪日クルーズ旅客数の大半が中国であり、中国依存度がかなり

高めの傾向にある。今後、安定的・継続的なクルーズ受け入れのためには、中国依存の脱却が重要であり、北東アジア関係国間の連携と、自国発着のクルーズの拡大を考えていく必要がある。

鹿児島港における港湾物流の現状と今後の見通しや必要な機能について

将来を考えると、臨港道路の複線化、もしくは高架橋等の検討、谷山一区と谷山二区から産業道路へ出ないで通行できる道路整備の検討も必要ではないかと考えている。また、新港区以外の上屋は老朽化が進んでいる。老朽化した施設の更新・補修を適切に行い、災害に強く強固な物流機能の構築が重要だと考える。

(以上)

- 本勉強会では、概ね20～30年先を見据えた際に鹿児島港で必要と想定される港湾の機能・役割を踏まえ、「中長期的なビジョン」として今後の施策等を整理することを目的として、港湾利用者や行政関係者等による議論を進めている。
- 令和5年2月3日に開催した第2回勉強会では、第1回勉強会(令和4年12月21日開催)での意見等を踏まえて整理した鹿児島港における役割、取組の方向性、取組方策の案について、各構成員から意見を頂いた。令和4年度末までに第3回を開催予定。



勉強会の様子

主な議題

物流・産業

- ・ 慢性的な道路渋滞
- ・ ふ頭間のアクセスの脆弱性
- ・ 企業誘致・産業振興のための用地の不足

人流・賑わい

- ・ 海辺における賑わいづくり
- ・ マリンポートかごしま周辺の渋滞
- ・ 港内に多くの放置艇がある

防災・減災、環境・エネルギー

- ・ 岸壁や上屋の老朽化
- ・ 火山灰・土石土砂の処分場不足
- ・ カーボンニュートラルポートの形成

議事次第

- 日時: 令和5年2月3日(金) 10:00～12:00
 場所: Li-Ka19.20 南国ホール 5F Room A
- 開会
 - 議事
 - 第1回勉強会の振り返り等
 - 鹿児島港における中長期ビジョン(案)について
 - 課題の整理及び検討項目
 - 役割(案)と取組の方向性(案)
 - 取組方策(案)
 - 情報提供
 - 意見交換
 - 閉会

構成員一覧

(敬称略、順不同)

企業・団体名	
企業・団体	NPO法人 ゆめみなと鹿児島
	鹿児島経済同友会
	鹿児島港運協会
	鹿児島県倉庫協会
	鹿児島県旅客船協会
	鹿児島商工会議所
行政	鹿児島県
	鹿児島市
	九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所

(事務局)九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課

勉強会で頂いた意見の一例

- ・ 耐震強化岸壁について、現在、新港区に1岸壁のみ。鹿児島港は人流・物流の拠点であり、離島航路を多数抱えている。防災の観点から、新たな耐震強化岸壁の内容があってもよいと思う。
- ・ 将来を考えると、臨港道路の複線化、もしくは高架橋等の検討、谷山一区と谷山二区から産業道路へ出ないで通行できる道路の検討も必要ではないか。
- ・ 「物流・産業」と「人流・賑わい」の機能が輻輳して危険な状況になっている箇所があるため、棲み分けの検討をしてほしい。